

Hiroshima

憲法フォークジャンボリー2010 プレ企画

戦争の放棄 Peace 9

笠木透と雑花塾コンサート



私たちは、憲法九条と生きてゆく

2010年

4・11(日) 2:00PM~5:00PM

広島ロードビル3Fホール

1200円(当日1500円)

中高生&障がい者500円 小学生200円

憲法フォークジャンボリー2010

2010年8月7日(土) 1:00PM~8:00PM

広島県民文化センター ホール

3500円(当日4000円)

中高生&障がい者1000円/小学生200円

主催 憲法フォークジャンボリー2010実行委員会(準備会) & 連根の会

連絡先 石口俊一法律事務所 広島市中区八丁堀4-24-7F/080-6750-5432(担当・二見携帯)

e-mail hiroshimakfj@yahoo.co.jp

ブログ <http://hiroshimakfj.typepad.jp/blog/>

● 笠木透と雑花塾

笠木透さんは1937年岐阜県生まれ。「60年安保」を全学連の闘士として奔走。しかし、新安保条約は成立し、「なぜ、安保闘争で負けたのか」と失意の日々を過ごしていました。笠木さんがその答を見つけたのは6年後。ベトナム歌舞団を見て「目からウロコが落ちた」といいます。

アメリカと戦争をしながら、歌い、踊っている。「たたかいとは生活しながらたたかうことなのだ」「そしてその生活の中に、歌をつくったり、遊んだりがある」

ここから、うたをつくってうたうことが始まりました。生活の中からの歌づくり、フィールドフォークを提唱し、今日まで「私の子どもたちへ」「私に人生といえるものがあるなら」「わが大地のうた」など900曲に迫る「うた」を生み出しています。著書に『わが大地のうた』（1985年・あけび書房）『修羅のデュエット』（1987年・ささら書房）『私に人生と言えものがあるなら』（1998年・萌文社）などがあります。「つくった歌のように生きろ。できないことは歌うな」がモットー。

憲法九条改悪の流れに抗して「憲法フォークジャンボリー」を2005年に提唱。全国規模の大きなコンサート、各地でのさまざまな形態のコンサートを開いています。「我夢土下座」「フォークス」のリーダーを経て、創作演奏集団「雑花塾」を創立。

「雑花塾」のメンバーは全国にいて、各々がソロミュージシャンとして高い実力を持ち、地域に根ざした活動を展開しています。

よびかけ

私たちは無告の民です。

あの戦争で、最もよく協力した私たちは、最も大きな犠牲を払いました。

その言葉にもならないほどの苦しみを誰に告げることができたのでしょうか。

私たちは、いざというときに、たよりとするとところを持たず、ただオロオロと逃げまどうしかない無告の民です。

多くのものは家族を失い、茫然自失のどん底で、のたうちまわり、はいずれまわって生きのびるしかなかった無告の民です。その子どもたちです。

私たちは学んだのです。あの戦争を止めることも終わらせることもできなかった、私たちの無力さと無惨さを。

私たちは心に刻んだのです。もうどんなことがあっても、戦争はしない。私たちの手は、銃を握るためではなく、箸や鉛筆をもつためにあるのだと。

私たちのよるべきところは、私たち自身です。無名で無力、無告と呼ばれてきた、私たち自身です。この国と、アジアの人びとの群れです。

この国は、戦後六〇年間、平和だった。外国を侵略しなかった。こんな素晴らしいことはありません。私たちが、つましくも、人間らしく生きてこられたのは、この平和な時代があったからです。私たちのためにこそ、憲法九条があると言っているでしょう。

私たちの生存の根源である、憲法九条が改悪され、この国が再び戦争をする国になることを許すわけにはいきません。

私たちは、私たちと同じあなたに呼びかけます。一緒にやりませんか。あなたの参加を願い、心待ちにしております。